

PENTAX 17

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

1章 基礎知識

お使いになる前に必ずお読みください。
PENTAX 17の全体像を紹介しています。

2章 準備

はじめてお使いになるときは必ずお読みください。
撮影するまでに必要な準備について説明しています。

3章～

目的に応じて必要なときにお読みください。
撮影方法や設定などを記載しています。



Model: R08010

お客様登録のお願い

このたびは、リコーイメージング製品をお買い求めいただきありがとうございます。
ご迷惑をおかけいたします。

ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影する方法や使用上の注意について記載してあります。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp>

リコーイメージング株式会社

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
著作権について	本製品を使用して撮影した写真は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている写真は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により撮影されなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。
電波障害自主規制について	この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© RICOH IMAGING COMPANY, LTD. 2024

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

安全上のご注意

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

- | | |
|---|---|
|  警告 | このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。 |
|  注意 | このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。 |

本体について

警告

- ・カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- ・落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- ・太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- ・撮影レンズを太陽に向けた状態でファインダーを覗かないでください。失明や視力障害の原因になります。
- ・使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池を取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

- ・フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- ・フラッシュの発光部を衣類などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- ・本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますので、ご注意ください。

電池について

注意

- ・本機では、決められた電池以外は使用しないでください。電池の爆発、発火の原因となることがあります。
- ・電池をショートさせたり、火の中に入れてしないでください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- ・万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。

警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 - 電池や外した電池カバーのねじは、誤飲に注意してください。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 - 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

もくじ

はじめに.....	1
安全上のご注意.....	2
1 基礎知識	5
同梱品を確認しましょう.....	5
各部の名称と機能.....	6
インジケータランプ.....	10
ファインダー内表示.....	11
2 準備しましょう	12
ストラップを取り付ける.....	12
電池を入れる.....	13
電源を入れる.....	14
フィルムを用意する.....	14
使用できるフィルム.....	14
フィルム感度を設定する.....	15
フィルムを入れる.....	16
フィルムを巻き戻す.....	20
カメラの構えかた.....	21
3 撮影しましょう	22
フルオートで撮影する.....	22
撮影モードを設定する.....	23
フラッシュを使用して撮影する.....	24
バルブ撮影を行う.....	26
撮影距離を設定する.....	27
露出を補正する.....	29
フィルターを使用する.....	30
4 付録	31
困ったときは.....	31
主な仕様.....	33
取り扱い上のご注意.....	36
アフターサービスについて.....	38
PENTAX クラブハウス.....	40
索引.....	41

同梱品を確認しましょう

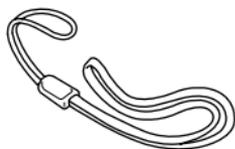
パッケージを開いたら同梱品を確認してください。



カメラ本体



レンズキャップ
(O-LC40.5)



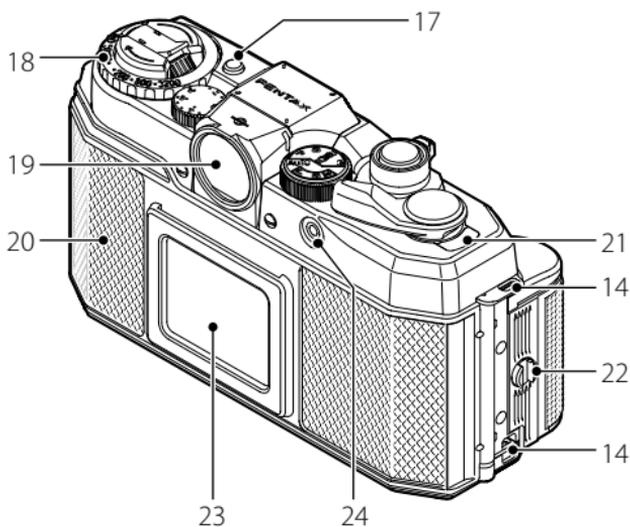
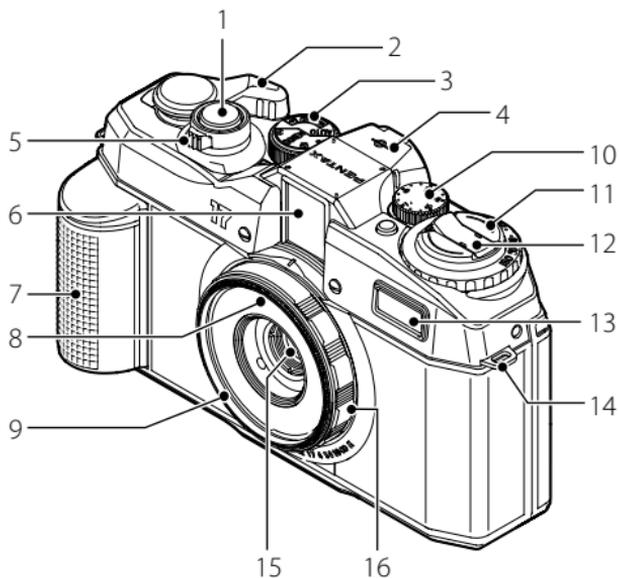
ストラップ
(O-ST191)

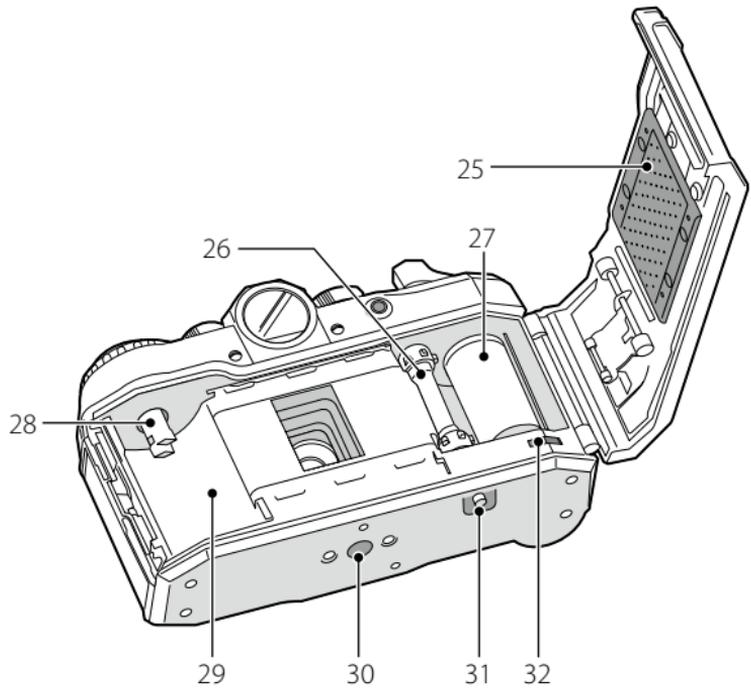
スタートガイド

各部の名称と機能

1

基礎知識





- 1 **シャッターボタン**
撮影します。(p.22)
- 2 **巻き上げレバー**
次の撮影コマまでフィルムを巻き上げます。(p.17)
- 3 **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。(p.23)
- 4 **フィルム面位置マーク**
フィルム面の位置(撮像焦点位置)を表します。
- 5 **電源レバー**
電源のオン/オフを切り替えます。(p.14)
- 6 **ファインダー窓**
- 7 **グリップ/電池カバー**
電池を入れるときに取り外します。(p.13)
- 8 **測光部**
被写体の明るさを測ります。
- 9 **フィルター取り付けねじ(40.5mm)**
(p.30)
- 10 **露出補正ダイヤル**
露出補正值を設定します。(p.29)
- 11 **巻き戻しノブ**
フィルム装填時や巻き戻し済みのフィルムを取り出すときに、引き上げて裏ぶたを開きます。(p.20)
- 12 **巻き戻しクランク**
撮影し終えたフィルムをパトローネ(フィルム収納容器)に巻き戻すときに回します。(p.20)
- 13 **フラッシュ発光部**
(p.24)
- 14 **ストラップ取り付け部**
ストラップを取り付けます。(p.12)
- 15 **レンズ**
- 16 **ゾーンフォーカスリング**
ピントを合わせたいゾーンを設定します。(p.27)
- 17 **ISO 感度ダイヤルロック解除ボタン**
ISO 感度ダイヤルを回すときに押します。(p.15)
- 18 **ISO 感度ダイヤル**
フィルムのISO 感度を設定します。(p.15)
- 19 **ファインダー**
被写体の構図や画角を確認します。(p.11)
- 20 **裏ぶた**
フィルムの装填/取り出し時に開けます。それ以外のときには絶対に開けないでください。(p.16)
- 21 **フィルムカウンター**
撮影枚数が表示されます。(p.17)
- 22 **グリップ取り付けねじ**
(p.13)
- 23 **メモホルダー**
フィルムの箱の切れ端やメモを入れて使用します。(p.19)
- 24 **ケーブルスイッチ端子**
別売のケーブルスイッチ CS-205 を接続します。
- 25 **フィルム圧板**
フィルムの平面性を保ちます。

26 スプロケット

フィルム装填時に、フィルムのパーフォレーション（フィルム両端の穴）を合わせます。

27 巻き取りスプール

撮影したフィルムを巻き取ります。

28 巻き戻し軸**29 パトローネ室**

フィルムのパトローネを装填します。(p.16)

30 三脚ねじ穴

三脚を取り付けます。

31 巻き戻しボタン

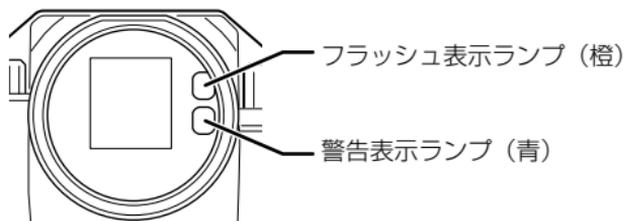
撮影し終えたフィルムをパトローネに巻き戻すときに押します。(p.20)

32 フィルム先端マーク

フィルム装填時に、フィルムの先端を合わせます。(p.16)

インジケータランプ

ファインダー横の2色のランプで、カメラの状態や警告などの情報を表します。



起動時の警告

橙色	青色	状態
速い点滅 *1	速い点滅 *1	電池残量なし（撮影不可）警告
—	速い点滅	レンズキャップ（低照度）警告

シャッターボタン半押し時の警告

橙色	青色	状態
速い点滅 *1	速い点滅 *1	電池残量なし、またはフィルム巻き上げ未完了（撮影不可）警告
—	速い点滅	露出警告 *2
—	遅い点滅	撮影距離クローズアップ（テーブルフォト/マクロ）警告

フラッシュ発光撮影モード時の情報

橙色	青色	状態
遅い点滅	—	フラッシュ充電中
点灯	—	フラッシュ充電完了

*1 橙色／青色が交互に点滅します。

*2 バルブ撮影またはフラッシュ充電完了時は警告しません。

ファインダー内表示

1 視野枠

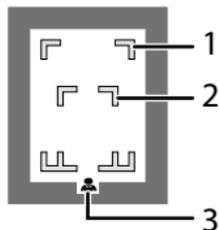
被写体がこの枠内におさまるように構図を決めます。(p.22)

2 近距離視野補正枠

クローズアップ（テーブルフォト／マクロ）で撮影するときは、この枠内で構図を決めます。

3 ゾーンフォーカスマーク

ゾーンフォーカスリングの設定が確認できます。(p.27)



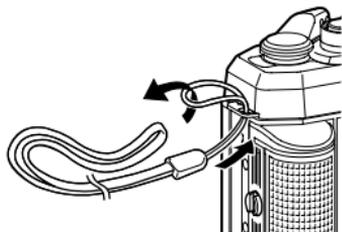
ストラップを取り付ける

2

準備
しまし
ましょ
う

- 1** カメラのストラップ取り付け部に、付属のストラップの細いひも部分を通す

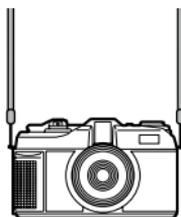
3か所あるストラップ取り付け部のいずれかに取り付けます。



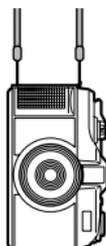
- 2** ストラップの端をひもの輪にくぐらせて引き締める

メモ

- 市販の首かけ式のストラップを取り付ける場合は、図のように取り付けてください。



横吊り

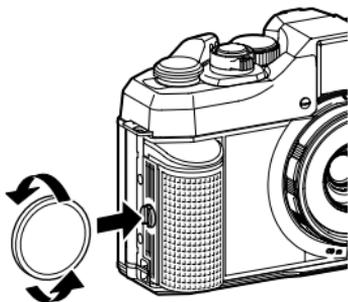


縦吊り

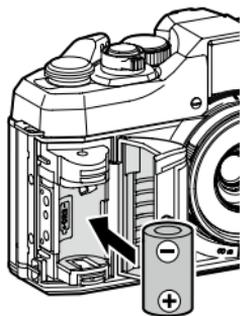
電池を入れる

市販の3Vリチウム電池 CR2 を1本用意してください。

- 1** カメラ側面のグリップ取り付けねじをコイン等で回し、グリップを取り外す
グリップ取り付けねじは紛失しないように注意してください。



- 2** 電池の向きに注意し、電池室に電池を挿入する



- 3** グリップをもとの位置に取り付け、グリップ取り付けねじを締める

注意 -----

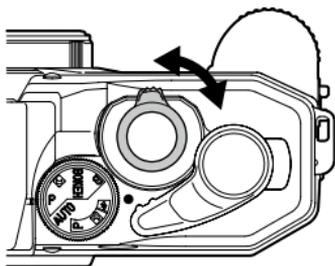
- ・充電式の電池は使用できません。

メモ -----

- ・電池を取り出すときは、同様の手順で行ってください。
- ・新品の電池を使用した場合、約10本（フラッシュ50%使用、36枚撮りフィルム使用時）撮影できます。
- ・使用済みの電池は、各自治体の指定に従って廃棄してください。

電源を入れる

- 1 電源レバーを右に回す
電源が ON になります。
- 2 電源を切るときは、電源レバーを左に回す
電源が OFF になります。



メモ

- ・電源が ON の状態で 1 分以上操作をしないと、自動的に電源が OFF になります（オートパワーオフ）。オートパワーオフから復帰するときは、シャッターボタンを半押しします。

フィルムを用意する

使用できるフィルム

本機では、以下のフィルムが使用できます。

- ・ 35mm フィルム
- ・ ISO 感度が 50 / 100 / 125 / 160 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 のフィルム
- ・ 36 枚撮りまでのフィルム



ハーフサイズ

- ・ 本機の撮影フォーマットは、24 × 17mm のハーフサイズです。
- ・ フィルムに記載されている撮影枚数の 2 倍の枚数が撮影できます。
- ・ カメラを横向きに構えると、縦長の構図で撮影されます。
- ・ 撮影が終わったフィルムの現像をカメラ店等に依頼するときは、「ハーフサイズ」であることを伝えてください。



注意

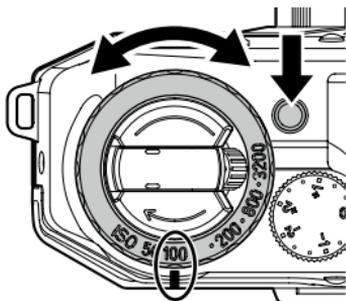
- ・ 赤外フィルムは使用できません。

フィルム感度を設定する

使用するフィルムに合わせて、フィルム感度を設定します。
新しいフィルムを装填するたびに、設定してください。

1 フィルムの外箱等書かれているフィルム感度を確認する

2 ISO 感度ダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ISO 感度ダイヤルを回して指標に合わせる
50 / 100 / • (125) / • (160) /
200 / • (400) / 800 / • (1600)
/ 3200 が設定できます。



2

準備
しまし
ま

注意

- 撮影モード **B** では、設定は無効です。

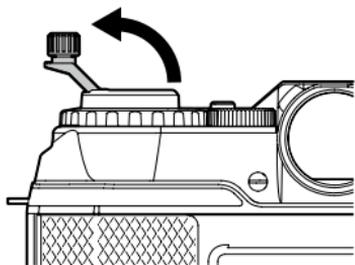
フィルムを入れる

フィルムは、直射日光が当たらない場所で装填してください。

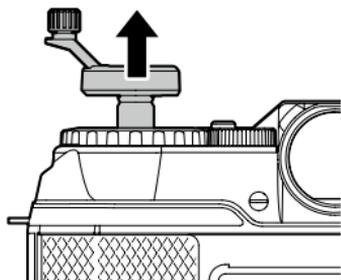
- 1 モードダイヤルを **P** にし、レンズキャップが取り付けられていることを確認する



- 2 巻き戻しクランクを引き起こし、巻き戻しノブが止まるまで軽く引き上げる



- 3 巻き戻しノブを持ち、裏ぶたが開くまでまっすぐに引き上げる

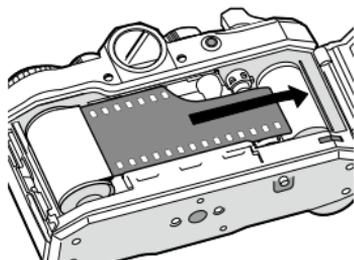


4 パトローネ軸の出っ張りを下にして、フィルム室に装填する

5 フィルムのリーダー部（ベロ）を少し引き出し、橙色のフィルム先端マークに合わせる

フィルムがたるまないように少しずつ引き出して合わせます。

フィルム先端マークに合っていないと、正しく巻き上げができません。



6 裏ぶたを閉じる

フィルムが浮かないように注意しながら閉じます。

7 巻き戻しノブと巻き戻しクランクをもとの位置に戻す

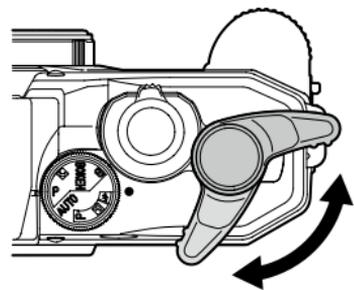
8 電源を ON にする

9 巻き上げレバーを右方向に動かしてフィルムを巻き上げる

巻き戻しノブが回転してフィルムが巻き上がり、シャッターがセットされます。

1コマ巻き上げると、巻き上げレバーが自動的に戻ります。

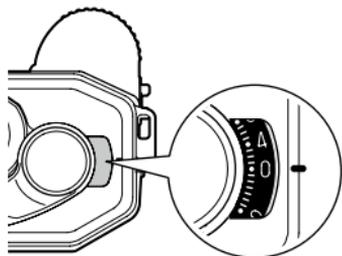
撮影中もこの操作でフィルムを巻き上げます。



10 シャッターボタンを押す

11 フィルムカウンターが「0」になるまで手順9～10を繰り返す

巻き上げに応じて巻き戻しノブが動くことを確認します。

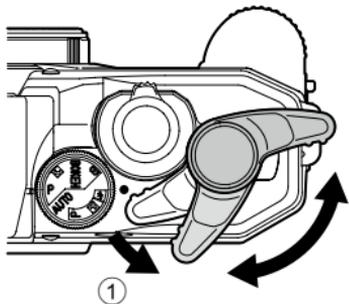


注意

- ・裏ぶたを開けるときは、必ず巻き戻しノブを持って引き上げてください。巻き戻しクランクを持って引っ張ると、巻き戻し軸が曲がる場合があります。
- ・裏ぶたを閉じるときは、指を挟まないよう注意してください。
- ・レンズキャップを外した状態でフィルムを装填すると、不要なコマが写り込む場合があります。
- ・モードダイヤルが **P** 以外でフィルムを装填すると、不用意にフラッシュが発光したり、長秒シャッターになる場合があります。
- ・巻き上げたときに巻き戻しノブが回転しないときは、フィルムが正しく装填されていません。
- ・フィルムが巻き上げ済みのときや、フィルムの最後まで撮影し終わっている場合は、巻き上げレバーは動きません。無理に回さないでください。
- ・フィルムの規定枚数×2のコマ数以上、無理に巻き上げないでください。(例：24枚撮りフィルムで48枚以上巻き上げない) フィルムが裂けたり、途中で切れる場合があります。
- ・フィルムカウンターの最大値は「72」です。それ以上巻き上げても、数字は変わりません。

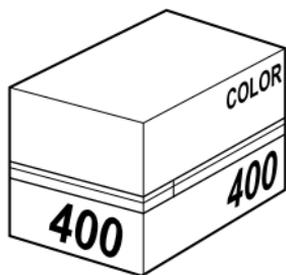
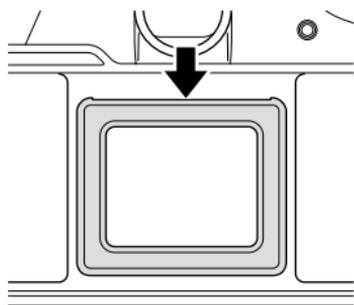
巻き上げレバーの予備角

- ・巻き上げレバーを少し動かすと、巻き上げがしやすい位置 (①) で止まるようになっています。そこからさらに右方向に回すことでフィルムが巻き上がります。
- ・移動時などに巻き上げレバーが引っかかって動いてしまわないよう、左側に押し込んで収納してください。



メモホルダーを利用する

裏ぶた側にあるメモホルダーには、フィルム箱の切れ端や撮影記録等のメモ用紙を入れておくことができます。



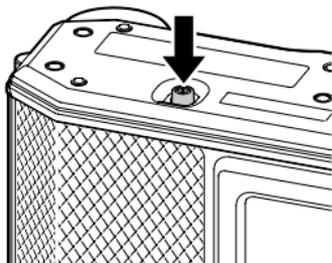
2

準備
しまし
よう

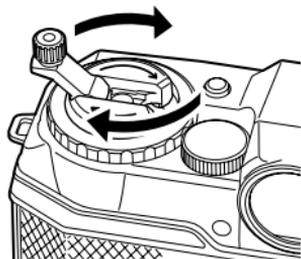
フィルムを巻き戻す

フィルムを最後まで撮影したら、フィルムを巻き戻してパトローネに収納します。

- 1** 巻き戻しボタンを押し込む
フィルムが巻き戻せる状態になります。

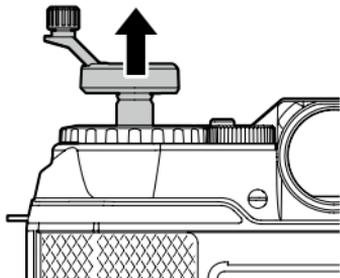


- 2** 巻き戻しクランクを起こし、時計回りに回す
フィルムが巻き戻されます。



- 3** 巻き戻しクランクの回転が軽くなったら、さらに3回ほど回して巻き戻す
フィルムがパトローネに収納されます。

- 4** 巻き戻しノブを引き上げて裏ぶたを開き、パトローネを取り出す



- 5** 裏ぶたを閉じて、巻き戻しノブと巻き戻しクランクをもとに戻す

注意

- ・巻き戻しが完了するまで、裏ぶたを開けないでください。途中で開けるとフィルムが感光し、撮影内容が失われます。
- ・パトローネは、直射日光があたらない場所で取り出してください。

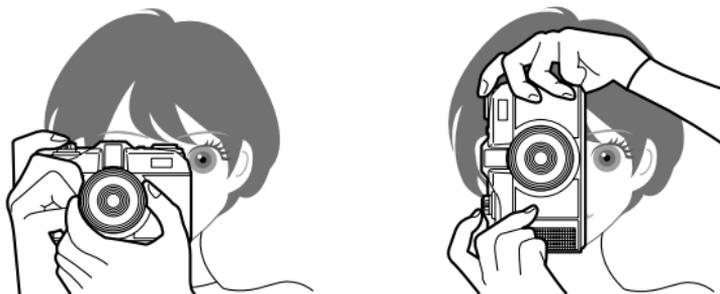
メモ

- ・フィルムの途中でも、巻き戻しボタンを押し込むことで巻き戻しができます。

カメラの構えかた

カメラを横位置に構えると縦長、縦位置に構えると横長の写真が撮影できます。

撮影するときはカメラを両手でしっかりと持ち、シャッターボタンを指の腹で静かに押します。カメラがぶれないように注意して撮影してください。

**メモ**

- ・縦位置でフラッシュを使用するときは、フラッシュが上側になるように構えます。
- ・撮影時に脇を締めて構えると、カメラがぶれにくくなります。

フルオートで撮影する

まずフルオートモードで簡単に撮影してみましょう。

1 電源を ON にする

2 モードダイヤルを回して、撮影モードを **AUTO** に設定する



3 カメラを構え、ファインダーを覗く

4 視野枠内に被写体を入れ、シャッターボタンを半押しする

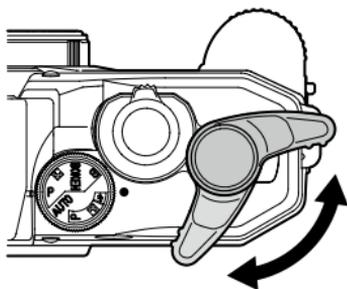
5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ピントは、ゾーンフォーカスの設定にかかわらず固定です。

フラッシュはカメラが判断して発光させます。

6 フィルムを巻き上げる
フィルムカウンターが進みます。



注意

- ・ **AUTO** は、ゾーンの  /  に対応していません。被写体から 1m 以上離れて撮影してください。



シャッターボタンの操作

- ・シャッターボタンには、2段階の操作があります。

半押し	シャッターボタンを少し押します。 測光が行われ、必要に応じてインジケータランプが点灯または点滅します。
全押し	シャッターボタンを半押しからさらに押し込んで、シャッターを切ります。

撮影モードを設定する

モードダイヤルを回して撮影モードを設定します。

撮影モード	露出制御	フラッシュ	フォーカス
AUTO フルオート	パンフォーカスプログラム	自動発光	固定
P 標準	プログラム	発光なし	ゾーンフォーカスリングで設定
低速シャッター	低速プログラム		
BOKEH 絞り開放優先	開放優先プログラム		
B パルプ	開放パルプ	強制発光	
P 日中シンクロ	プログラム		
低速シンクロ	低速プログラム		



メモ

- ・ / **B** / では、三脚と別売のケーブルスイッチ（CS-205）の使用をお勧めします。
- ・ / では、シャッター速度が最大4秒まで遅くなります。
- ・**B** では、絞りがF3.5固定になります。

フラッシュを使用して撮影する

フラッシュを強制発光させて撮影します。

1 電源を ON にする

2 撮影モードを P  または  に設定する。

P  日中シンクロ	被写体が逆光や影になってしまうときに、フラッシュを発光させて撮影します。 シャッター速度は、最長 1/30 秒です。
  低速シンクロ	背景が暗い場所で人物を撮影するときに、人物にはフラッシュを発光させ、背景は低速シャッターで撮影します。 シャッター速度は、最長 4 秒です。

フラッシュ表示ランプ（橙色）が点滅し、フラッシュが充電されます。充電が完了すると、フラッシュ表示ランプが点灯に変わります。

3 撮影距離を設定をする

「撮影距離を設定する」(p.27) を参照してください。

4 ファインダーを覗いて視野枠内に被写体を入れ、シャッターボタンを半押しする

5 フラッシュ表示ランプ（橙色）が点灯していることを確認する

6 シャッターボタンを全押しする

7 フィルムを巻き上げる

**メモ**

- ・フラッシュの光が届く範囲は、使用するフィルムのISO感度によって異なります。ISO 100 使用時はゾーン近距離まで、ISO 400 以上使用時はゾーン中距離までを目安にしてください。
- ・フラッシュ発光によって、人物の瞳が赤く撮影されることがあります。(赤目現象)
- ・ではシャッター速度が最大4秒まで遅くなるため、三脚などを使用しないで手持ちで撮影する場合は、**P** の使用をお勧めします。

**注意**

- ・ゾーンを / に設定してフラッシュ撮影をするときは、以下に注意してください。
 - ・画面の明るさにむらが生じることがあります。特に、レンズにフィルターやフードなどのアクセサリをつけている場合は、明るさのむらが大きく生じることがあります。フィルターやフードなどは、取り外して撮影してください。
 - ・ISO感度が高いフィルムを使用すると、露出オーバーになります。ISO 100のフィルムをお勧めします。

バルブ撮影を行う

シャッターボタンを押している間、露光を行います。

1 電源を ON にする

2 撮影モードを **B** に設定する

3 撮影距離を設定をする

「撮影距離を設定する」(p.27) を参照してください。

4 ファインダーを覗いて被写体を確認し、シャッターボタンを半押しする

5 シャッターボタンを全押ししたままにする
露光が継続します。

6 シャッターボタンから指を離す
露光が終了します。

7 フィルムを巻き上げる

 **注意**-----

- ・バルブ撮影 では、以下の設定は無効です。
 - ・ ISO 感度
 - ・ 露出補正

 **メモ**-----

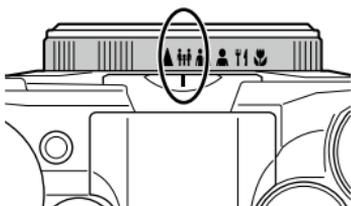
- ・バルブ撮影時は、絞りが F3.5 固定になります。

撮影距離を設定する

1 ゾーンフォーカスリングを回転させて、指標に合わせる

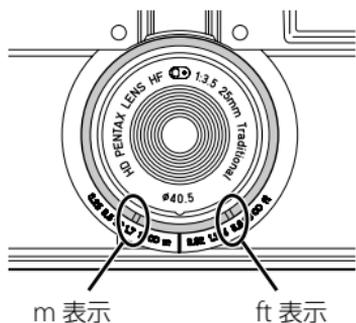
被写体までの距離によって、ゾーンを選択します。

各ゾーンのピントが合う範囲は以下のとおりです。



ゾーン	ピントが合う範囲 m (ft)
▲ 遠距離	5.1m ~ ∞ (17ft ~ ∞)
二人 中距離	2.1m ~ 5.3m (6.9ft ~ 17ft)
一人 近距離	1.4m ~ 2.2m (4.6ft ~ 7.2ft)
一人 至近距離	1.0m ~ 1.4m (3.3ft ~ 4.6ft)
🍴 クローズアップ (テーブルフォト)	0.47m ~ 0.54m (1.6ft ~ 1.8ft)
🌸 クローズアップ (マクロ)	0.24m ~ 0.26m (0.79ft ~ 0.85ft)

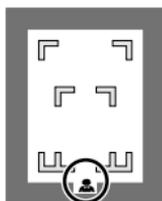
選択したゾーンの距離（代表値）は、カメラの正面から確認できます。





メモ

- ・ファインダーを覗くと、ゾーンフォーカスの設定が確認できます。



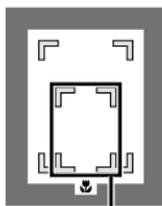
3

撮影しまじょう



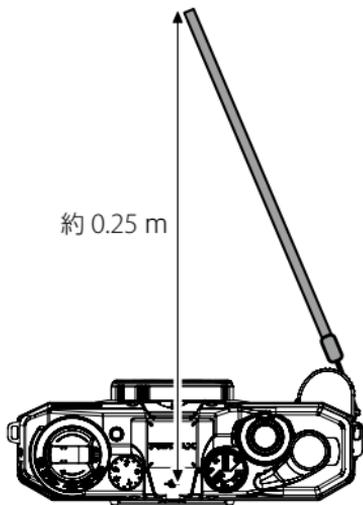
注意

- ・撮影モード **AUTO** では、設定は無効です。
- ・ / はピントが合う範囲が狭くなるため、シャッターボタン半押し時に警告表示ランプ（青色）がゆっくり点滅し、クローズアップ警告が行われます。点滅していても、撮影は可能です。



マクロ撮影領域

- ・付属のストラップでおおよそ0.25 mの距離を測ることができます。

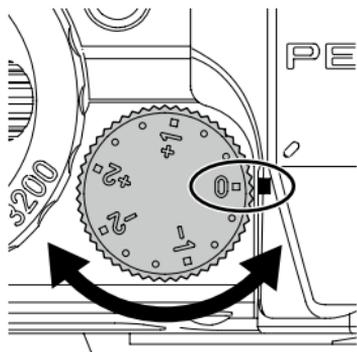


露出を補正する

白っぽい被写体や黒っぽい被写体を撮影するときに、露出がアンダーやオーバーになることを防ぎます。逆光などで被写体の露出が不足する場合などに利用します。また、意図的に露出オーバー（明るい写真）にしたり、露出アンダー（暗い写真）にすることもできます。

1 露出補正ダイヤルを回転させ、指標に合わせる

1/3 EV ステップで、 $\pm 2.0\text{EV}$ の間で設定できます。



注意

- ・撮影モード **B** では、露出補正は無効です。

フィルターを使用する

本機は、市販の 40.5mm フィルターをレンズ部のフィルター取り付けねじに取り付けて使用することができます。



注意

- 色や濃度があるフィルターを使用すると、正しい露出が得られない場合があります。事前にテスト撮影を行い、露出補正を利用してください。
- 白黒フィルムで使用する色付きのフィルターで露出倍数などが必要なものは、測光センサーとの組み合わせで補正できない場合があります。事前にテスト撮影を行ってください。
- フィルターを重ねて使用すると測光範囲にケラレが生じ、正しい露出が得られないことがあります。フィルターは、枠が薄いものを 1 枚のみ使用してください。

困ったときは

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない	電池がセットされていない	電池を正しくセットしてください。	p.13
	電池の挿入方向が違う		
	電池が消耗している	電池を交換してください。	
	使用できない電池を使用している	市販の3Vリチウム電池CR2を使用してください。	
電源が途中で切れる	操作しない時間が続いたため、[オートパワーオフ] が働いた	シャッターボタンを半押ししてください。	p.14
	電池が消耗している	電池を交換してください。	p.13
撮影できない	フィルムが巻き上げられていない	フィルムを巻き上げてください。	p.17
	電池が消耗している	電池を交換してください。	p.13
	電源が入っていない	電源をオンにしてください。	p.14
ピントが合わない	レンズが汚れている	乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。	—
	撮影距離の設定が合っていない	ゾーンフォーカスリングで、ピントを合わせたいゾーンを選択してください。	p.27
	被写体との距離が近すぎる	マクロモードで撮影するか、被写体から離れて撮影してください。	p.27

症状	原因	処置	参照先
フラッシュが発光しない	フラッシュが使用できない撮影モードを選択している	撮影モードを確認してください。	p.24
	フラッシュ充電中	フラッシュ充電完了したことを確認してください。	

主な仕様

型式

型式	ハーフサイズレンズシャッターフィルムカメラ
画面サイズ	24 × 17mm
使用フィルム	35mm フィルム ISO 50、ISO 100、ISO 125、ISO 160、ISO 200、 ISO 400、ISO 800、ISO 1600、ISO 3200
感度設定	フィルムに合わせて手動設定
フィルムの入れ方	イーザーローディング方式
巻き上げ	レバーによる手動巻き上げ、巻き上げ角 130°、予備角 35°
巻き戻し	クランク式手動巻き戻し（途中巻き戻し可能）

レンズ

レンズ	HD PENTAX レンズ
焦点距離	25mm（35 ミリ判換算値 37mm 相当）
開放 F 値	F3.5
レンズ構成	3 群 3 枚
画角	61°（対角）
最大撮影倍率	約 0.13 ×（0.25m 時）
フィルター径	Ø40.5mm

ファインダー

方式	アルバダ式ブライトフレームファインダー
ファインダー内表示	視野枠、近距離視野補正枠（クローズアップ時）、ゾーンフォーカスマーク確認可能
ファインダー右横	青ランプ表示：警告系表示 橙ランプ表示：フラッシュ系表示

ピント合わせ

方式	ゾーンフォーカス（手動選択方式）
切替ポジション	6 ゾーン(0.25m、0.5m、1.2m、1.7m、3m、∞)(0.82ft、1.7ft、4ft、5.6ft、10ft、∞)

露出制御

測光方式	部分測光
測光範囲	EV 2.5 ~ 16.5 (ISO 100)
露出補正	± 2 EV (1/3 EV ステップ)
露出（撮影モード）	フルオート撮影（パンフォーカスプログラム、フラッシュ自動発光）、標準撮影（プログラム、フラッシュ非発光）、低速シャッター撮影（低速プログラム、フラッシュ非発光）、絞り開放優先撮影（開放優先プログラム、フラッシュ非発光）、バルブ撮影（開放バルブ、フラッシュ非発光）、日中シンクロ撮影（プログラム、フラッシュ強制発光）、低速シンクロ撮影（低速プログラム、フラッシュ強制発光）

シャッター

方式	プログラム AE 電子シャッター
シャッタースピード	1/350 秒～ 4 秒、バルブ

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ガイドナンバー約 6 (ISO 100 · m)、25mm レンズの画角をカバー
発光方式	撮影モード連動式
充電時間	約 9 秒
充電中表示	ファインダー右横橙ランプ：充電中表示（点滅）、充電完了表示（点灯）

電源

使用電池	3V リチウム電池 (CR2) 1 個、充電式電池は使用不可
電池寿命	約 10 本 (フラッシュ 50% 使用・36 枚撮フィルム使用時) * 当社試験条件による

外部端子

ケーブルスイッチ端子	ケーブルスイッチ CS-205 (別売) 対応 (Ø2.5mm)
------------	----------------------------------

外形寸法・質量

外形寸法	約 127.0mm (幅) × 78.0mm (高) × 52.0mm (厚) (突起部を除く)
質量	290g (フィルムと電池を除く)

動作環境

使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85% 以下 (結露しないこと)

付属品

同梱物	レンズキャップ O-LC40.5、ストラップ O-ST191
-----	--------------------------------

取り扱い上のご注意

お使いになる前に

- ・長期間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラの不具合により、現像等ができなかった場合、撮影内容の保証についてはご容赦ください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- ・高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- ・強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ・ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・このカメラは防水仕様ではないため、雨水などが直接かかる場所では使用できません。
- ・フィルムを入れたまま、直射日光の環境下で長時間放置しないでください。フィルムが感光するおそれがあります。
- ・三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のプロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

アフターサービスについて

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げの販売店かお客様窓口にお申し出ください。なお、お買い上げの販売店またはお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、お買い上げの販売店と当社間の諸費用につきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
2. お買い上げの販売店やお客様窓口にて製品をお送りいただく場合には、輸送中の衝撃に耐えられるように梱包していただき宅配便等の送付控が残る方法でお送りください。修理品をお送りいただく際には、不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付いただくと原因分析に役立ちます。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - (1) 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障および損傷。
 - (2) 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障および損傷。
 - (3) 火災・天災・地変・指定外の電源（電圧・周波数）使用・公害等による故障および損傷。
 - (4) 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に泥・砂・ホコリ・液体かぶり・電池の液漏れ等）による故障および損傷。
 - (5) 落下・衝撃・加圧・振動・浸水・砂等による故障および損傷。
 - (6) 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付のない場合。
 - (7) お買い上げの販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
4. 保証の対象となるのは製品本体のみで、ケース、ストラップ、レンズキャップ、ケーブル等の付属品類や消耗品類（電池・フィルム・記録媒体等）は保証の対象となりません。
5. 修理履歴等につきましては別途修理発生時に発行される「納品書」または「修理票」を保管いただきご確認ください。
6. 修理によって交換した旧部品は、弊社にて処分させていただきます。旧部品をご入用な場合は、修理依頼の際にお申し出ください。部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。
7. 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については保証いたしかねます。
8. 保証期間経過後の修理などについては、お客様相談センターまたは、お客様窓口にお問い合わせください。保証期間経過後の修理は有料となります。また、その際の諸費用はお客様にご負担願います。
9. 本製品の部品保有期間は製造打ち切り後5年を目安としております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。保有期間終了以後はお客様窓口にお問い合わせください。

ご注意

1. 保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これにより、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証書の表示について、ご不明な点はお客様相談センターにお問い合わせください。

保証書取り扱い上のご注意

1. お買い上げの際には、お買い上げの販売店名や購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。
2. 保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)

保証規定の改定

- ・ 当社は本保証規定を改定することができるものとします。この場合当社は、適切な時期に、本保証規定の変更内容および変更後の本保証規定の効力発生日を当社ホームページへの掲載その他当社が適当と判断した方法により周知します。なお、保証規定が改定された場合でも、製品のご購入時における保証規定が適用されるものとします。

PENTAX クラブハウス

最新のレンズやカメラに触れられる「レンズバー」や、写真集などを閲覧でき、ゆっくりお過ごしいただける「ユーザーラウンジ」、クラブハウスでのイベントおよび企画に関連した展示スペース「フォトウォール」、そして機材の点検修理をお預かりする「サービスカウンター」。写真やカメラに親しみ、そしてユーザー同士の交流の機会を提供するコミュニケーションスペースです。

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 4-8 パーシモンビル 1F
TEL : 0570-006371

営業時間 : 11:00 ~ 18:00

休館日 : 水・日および祝日・弊社休業日

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/clubhouse/>

索引

I

ISO 感度ダイヤル 15

P

PENTAX クラブハウス 40

あ

アフターサービス 38

い

インジケーターランプ 10

え

遠距離 27

か

各部の名称 6

構えかた 21

き

近距離 27

近距離視野補正枠 11

く

クローズアップ 27

さ

撮影距離 27

撮影モード 23

し

至近距離 27

絞り開放優先撮影 23

視野枠 11

仕様 33

す

ストラップ 12

そ

ゾーンフォーカスマーク 11

ゾーンフォーカスリング 27

ち

中距離 27

長時間露光 26

て

低速シャッター撮影 23

低速シンクロ撮影 24

テーブルフォト 27

電源 14

電池 13

と

同梱品 5

に

日中シンクロ撮影 24

は

ハーフサイズ 14

バルブ撮影 26

ひ

標準撮影 23

ふ

ファインダー内表示 11

フィルター 30

フィルム 14

フィルム感度 15

フォーカス 27

フラッシュ 24

フルオート撮影 22

ま

巻き上げ 17

巻き戻し 20

マクロ 27

め

メモホルダー 19

も

モードダイヤル 23

ろ

露出補正 29

お困りのときは

本書の「困ったときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にご確認ください。

■お客様相談センター <https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10：00～17：00

休業日 日・祝日、年末年始、弊社休業日、ビル施設点検日は休業

修理受付

■ホームページ／電話による修理受付

ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持ってお伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス（無料）です。

インターネットからもお申し込みいただけます。

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

修理お問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-005140（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

FAX 03-3775-8548

※都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html